

作成日	令和7年9月24日
議員名	肥後 孝俊

事業No.	93・55			
事業名	高校生通学定期券助成事業			
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会	

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
公共交通が未発達なこの地域において、高校生の通学定期券助成は保護者にとってとても助かるものである。しかしながら対象を絞る必要性については、疑問がある。また制度を知らなかったとの声に、学校を通じて周知強化を図る必要がある。

(予算規模について)
公共交通利用促進と保護者による送迎の負担軽減を図り住みやすいまちを目指す上でも、対象範囲を拡大し予算も拡充する。事業者への赤字補填よりも実際に乗車してくれる可能性の高い高校生へ補助を拡大すべき。

■改善・提案内容

事業者への赤字補填よりも実際に乗車してくれる可能性の高い高校生へ補助を拡大すべき。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年 9月 18日

議員名

村木 勝也

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

- ・対象外地域の生徒を持つ世帯から不公平感が指摘されています。
- ・市外の私立高校ではスクールバスの導入等で通学負担の軽減が図られている一方、市内公立高校への進学促進や地域交通利用促進の観点からも公平性の確保が求められています。
- ・通学助成の対象や支援内容に地域や通学距離によるばらつきがあり、進学先の選択における公平性にも課題があると思います。

以上の点から、本事業は支援の公平性向上と運営面での改善が必要であると思います。

2 予算規模について

公平性の確保に加え「地域公共交通の利用促進」や「市内公立高校への進学促進」といった観点を持つことも必要であり、予算の拡充が必要であると考えます。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

- ・遠距離通学者だけでなく、近距離通学者を含めた全ての市内在住高校生への通学費用助成の拡充を検討する必要があると思います。
- ・現行制度では、特定の学科に限った市外通学のみが対象であり、他の学科に通う生徒との間に不公平感があるため、対象範囲の見直しが求められます。
- ・特に、市外の私立高校においてはバス送迎が整備されている場合もあり、通学費用に大きな差が生じている現状を踏まえた再検討が必要です。
- ・通学支援を通じた定住促進や少子化対策は、自治体間での競争ではなく、広域的な連携・協調の観点から検討すべきであり、制度全体の在り方について中長期的な視野での見直しも必要であると思います。
- ・財源は、子育て、定住、交通対策といった市の政策の根幹から市単費を考えています。

大学生にも拡充させる

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

沖田 真治

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 遠距離通学する高校生を持つ世帯を対象とした補助事業。令和4年度に開催された「地域の日」で出された通学への負担軽減を求める意見に応じ令和5年度より拡充されたが対象地域を広げたことにより利用世帯の増加に伴い大幅な増額となった。一方で対象外となった地域の生徒を持つ世帯からの不公平感は解消するべきである。敬老乗車券、乗り合いタクシー、あいのりタクシー等支援事業など高齢者を交通弱者と捉えた支援事業を行っているのであれば、高校生も交通弱者であり同様に扱うべきではないでしょうか？地域交通全体で考えた交通弱者対策を行うべき。また、市外の私立高校においてはスクールバスを導入し生徒の送迎を行っており、通学する生徒の負担の軽減を図っている。市内公立高校への進学を促すこと、地域交通利用促進の観点から事業評価に至った。 (予算規模について) 「地域交通の利用促進」「市内私立高校への進学促進」と言う観点も取り入れ増額するべき。
--

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。 浜田市内に暮らす全ての高校生の通学費用の一部を助成するべき。遠距離通学、特殊な事情がある家庭は配慮が必要。
--

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年9月18日
議員名 村武 まゆみ

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	○要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	○拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
本事業は遠距離通学する高校生世帯の負担軽減を目的として拡充されたが、対象地域や進学先による支援格差から不公平感が指摘されている。市内公立高校進学や地域交通利用促進の観点からも公平性の確保が課題であり、支援内容の見直しが必要である。あわせて、高校との連携強化や申請手続の効率化など運営面の改善も求められている。

(予算規模について) 令和6年度は申請件数が目標を上回り、現行予算では対応困難となっている。公平性の確保に加え、地域公共交通の利用促進や市内公立高校への進学促進の観点からも、予算拡充が適当と判断される。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

高校授業料無償化の動向を踏まえつつ、市内在住高校生全体への通学費助成拡充が必要である。現行制度は対象が限定され不公平感があり、市外私立高との格差是正や制度周知の強化も課題である。さらに、定住促進や少子化対策の観点から、広域的連携を視野に制度の中長期的な見直しが求められる。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年	月	日
議員名	川上 幾雄		

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		○現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	○現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
目的に合った事業と判断する

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	柳楽 真智子

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) あくまでも市内高校への進学への妨げとならない配慮もされている。 市内高校へ遠距離から通う場合にも費用負担がある中で、このような補助が行われていることは恵まれていることから、現行通りで良いと判断した。	妥
(予算規模について) 当と考える。	

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	串崎 利行

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

現状維持で問題ない。

(予算規模について)

拡充するべき。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

少子化であり、一人当たりの定期券購入助成金を増やすべき。（ふるさと寄附）

作成日	令和7年9月18日
議員名	小川 稔宏

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

（事業内容について） これまでも事業検証を行いながら改善されてきた点については評価できる。

（予算規模について） 住まいの地域、希望する学科、私立と公立等、様々な面で格差や不公平感が指摘されており、見直しを図るためには予算拡大の必要がある。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

公共交通の利用促進でいえば、私立高校でのスクールバス導入がJRや路線バスなど公共交通の利用減につながっている面は否めない。市内・市外、街地中心部と周辺部、学科の有無等による不公平感の緩和や負担格差是正のための見直しは必要。

作成日	令和7年 9月 18日
議員名	上野 茂

事業No.	93		
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	☒ 要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	☒ 拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 保護者の負担軽減で喜んでいるとの報告があった。
将来浜田市へ帰り定住につながるきっかけになればよい

(予算規模について) 物価高騰の中少しでも負担軽減に拡充した方がよい

■改善・提案内容

江津、矢上、益田と手厚い送迎がされている。浜田市も呼び込む受け入れ体制

議員事務事業評価シート

作成日 令和7年 10月 18 日
議員名 布施 賢司

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
特になし

(予算規模について) 特になし

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

岡本 正友

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について) 一市外高校でも、市内にない学科以外は対象外になっており、対象外になった保護者から改善を求める声がある。進学先の選択において公平性にかかる意見もあり、見直しが必要。

(予算規模について) 一対象範囲の拡大を図る場合、助成対象が増えるため予算の拡充が必要と考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

地域間で競争するではなく、少子化や定住促進を見据えた自治体間の協調を意識すべき。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	芦谷 英夫

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

申請手続き、制度周知など高校と連携する必要がある、高校への取次ぎ、事務代行などを検討する。

(予算規模について)

目標数値を超えており、予算規模の上限を引き上げる

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

高校授業料無償化の動向を見ながら、近距離通学生への拡大を検討する。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

永見 利久

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
市外の高校への通学助成、市内の高校にない学科に通学する場合に限るとなっており、通学費の一部助成は公平性に問題がある。

(予算規模について)
助成対象が増える予算の拡充が必要。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

市内外の高校(市外の場合は、県内の高校で、市内の高校にない学科に通学する場合に限る)に一定額以上の通学定期券を利用して通学する生徒の保護者に対する、通学日の一部助成をだけでなく、全ての学科に通学する生徒に対して助成するよう改善するべきである。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月18日
議員名	佐々木 豊治

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
利用者の一定負担も必要

(予算規模について) 現状維持

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年 9 月 1 9 日
議員名	田畑 敬二

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

地域の実態に合った事業であり、漏れがないか、チェックすることが必要がある

(予算規模について)

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年9月18日

議員名

西田 清久

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)

市外の高校に通う市内の学生に対する助成制度の在り方や距離による支援の在り方にばらつきを感じる。

(予算規模について)

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

バスで送迎される私立高校などとの明らかな通学費用の違いもあり、根本的な事業見直しが近い将来求められる。

議員事務事業評価シート

作成日

令和7年7月18日

議員名

川神 裕司

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

(事業内容について)
通学費の一部助成は地域によりバラツキが発生している状況。結果的に公平性の観点からみても問題があると認識している。

(予算規模について)
公平性を担保するためにも予算の拡充は必要と考える。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

全ての高校生の通学費助成が可能となる制度設計が求められる。結果的には予算に関しても増額することが求められる。

議員事務事業評価シート

作成日	令和7年9月 1 8
議員名	牛尾 昭

事業No.	当No. 93、実No. 55	※ 当No.○は令和6年度当初予算説明資料番号 実No.○は令和6年度主要施策等実績報告書番号	
事業名	高校生通学定期券助成事業		
担当課	まちづくり社会教育課	所管委員会	総務文教委員会

■議員評価（各評価上段に○）

事業内容 の評価 (区分の説明)	廃止	要改善		現行どおり
	(事業を廃止もしくは凍結)	(事業の内容や手法に改善や見直しが必要)		(事業の内容や手法はおおむね現行どおり)
予算規模 の評価 (区分の説明)	廃止	縮小	現状維持	拡充
	(予算はゼロ)	(予算は縮小)	(予算は現状維持)	(予算は拡大)

■評価判定に至った理由

適当であるが、私費通学生の場合は、考慮が必要。

■改善・提案内容

※ 予算規模の評価を「拡充」とした場合は、財源措置の考えについても記入してください。

上記に同じ。